

国語科学習指導案

山県郡豊平町立豊平中学校 末平 加代子

1 学年 第3学年

2 単元名 「一枚の写真から」 発想を広げ、自分の思いを書いてみよう

3 単元設定の理由

社会がめまぐるしい変化を遂げる今日、よりよく生きていくためには、自分の考えを持ち、それを互いの立場や考え方を尊重しながら表現する能力が必要である。そして、そういった能力を高めるためには、まず表現したいという意欲を持たせることが大切である。

しかし、所属校の生徒を見ると、積極的に表現しようとする意欲が十分には育っておらず、とりわけ書くことについて消極的である。それは、私の授業で、テーマ設定から評価までの表現活動を一連のものとしてとらえ、各段階における生徒の書く意欲を高めるための工夫が適切になされていなかったためだと考える。

そこで、作文指導において、生徒の興味・関心に応じたテーマ設定、書き方が身につく学習、成果が実感できる評価の工夫を行い、それらを一連の学習として展開すれば、生徒の書く意欲を高められるのではないかと考え、この単元を設定した。

4 単元の目標

- ・テーマを明確にし、書くことがらをふくらませる。
- ・構成について理解し、それを自分の文章に生かす。
- ・学習目標に照らして評価し、達成感を持つ。

5 学習指導計画（全7時間）

次	時	学 習 活 動	教 師 の 支 援	使用するプリント
一 (テーマ設定)	1	発想プリントを使い、言葉や写真から発想を広げる練習をする。 教師の提示する写真とテーマの例を見て、写真をもとに自分の伝えたいメッセージ(テーマ)を書くという学習の流れを把握する。	ゲーム的要素を取り入れて楽しく取り組めるようにする。 次回、写真を持ってくるよう告げる。写真選択にあたっては、伝えたいメッセージのあるものを選ぶように指示する。	発想プリント
	2	題材プリントにしたがって、テーマとなるメッセージを中心に、書くことがらをふくらませる。	題材プリントのCにはテーマを、Aには写真についての説明を、Bには写真から考えたこと、思い出を記入させる。	題材プリント 評価カード

二 記 述	3	構成プリントで尾括型・頭括型・双括型の三つの構成パターンを学習する。 自分にあった構成パターンを選び、構成表に文章のアウトラインを組み立てる。	題材プリントのA, B, Cをそのまま生かせる構成にし、それぞれのアウトライン例を提示する。	題材プリント 構成プリント アウトライン例 構成表 評価カード
	4 ・ 5	構成表のA, B, Cそれぞれをまとめた文章にし、段落カードに記入する。	見通しを持って書けるように、段落カードには目安となる分量を示しておく。	構成表 段落カード 評価カード
	6	段落カードの表現を見直す。 全体の構成を見直す。 段落カードを一つにまとめ、文章を完成させる。	チェックプリントにそって表現の見直しをさせ、段落カードを並べ替えて構成について考えさせる。	段落カード チェックプリント 原稿用紙 評価カード
三 評 価	7	お互いの文章を読んで、コメントカードに感想を寄せ合う。 毎時間の評価カードを見て、学習全体を振り返り、評価表に記入する。 作文から、学習したことが文章に生かされているかを自己評価し、評価表に記入する。	友だちの文章のよい点や努力が見える点などを肯定的に評価させ、書いたコメントは切り取って作者のもとへ届けさせる。 学習の過程の努力と完成した作品の両面から評価できるようにする。	作品 コメントカード 評価カード 評価表

6 工夫した点

(1) テーマ設定で、書くことを持たせるために

ア 自己決定の場面を取り入れる

学習意欲を高める重要条件である自己決定の場面を取り入れ、テーマを生徒それぞれに決めさせる。

イ 題材に写真を用いる

具体的にテーマを設定させるにあたって、生徒の経験や興味・関心を生かすことができる写真を題材として用いる。生徒はまず一枚の写真を選び、その写真をもとに自分の伝えたいテーマを設定する。

ウ 学習プリントを工夫する

生徒に書くことを持たせるため、次の二つの学習プリントを用いる。

- ・発想プリント...一つの言葉や写真から多くの書くことがらを引き出せることを実感させるプリント。
- ・題材プリント...自分の選んだ写真から、テーマを明らかにし、書くことがらをふくらませるプリント。

(2) 書き方の学習で、書き方を理解させるために

ア 指導事項を精選する

一度に多くの内容を盛り込んでいたこれまでの指導を反省し、指導事項を精選する。これにより生徒はやりとげられる見通しを持ち、意欲的に取り組めると考える。今回は構成の学習にしぼって授業を行うものとする。

イ 学習プリントを工夫する

生徒に書き方を理解させるため、次の二つの学習プリントを用いる。

- ・構成プリント...代表的な構成のパターン三種を理解させるプリント。
- ・構成表...題材プリントの内容を生かしながら構成について考えさせるプリント。

ウ 具体的な例を示す

学んだ構成パターンが実際にはどのような文章になるのか分かるように、三種の構成パターンそれぞれについて例を示す。

(3) 評価で、達成感を味わわせるために

ア 適切な目標を設定する

達成感は目標に対する「できた」という肯定的な評価によって生じると考えられるので、生徒にとって適切な目標の設定が必要となる。そこで、国語科の目標をふまえて、生徒の実態に応じた三つの目標と、それを支える一時間ごとの目標を設定する。

イ 目標を明確化する

生徒が自分の学習を振り返り、評価できるようにするためには、あらかじめ学習目標を知っておくことが必要である。そこで、時間ごとの目標を授業の始めに生徒に提示する。

ウ 学習プリントを工夫する

生徒に評価による達成感を味わわせるため、次の三つの学習プリントを用いる。

- ・評価カード...後に自分の努力を学習の過程にそって振り返れるように、一時間ごとの目標について自己評価するカード。
- ・コメントカード...できあがった作文をお互いに読み合い、評価し合うカード。
- ・評価表...学習全体を振り返って、総合的に学習を評価する表。

7 評価計画

(1) 評価の視点

授業における生徒の書く意欲の高まりについて、次の視点から評価する。

- ・テーマ設定の段階で、書くことを見つけ、そのことが書く意欲につながったか。
- ・記述の段階で、書き方を理解し、そのことが書く意欲につながったか。
- ・評価の段階で、目標を達成した実感を持ち、そのことが書く意欲につながったか。
- ・全学習を終えて、書く意欲が高まったか。

(2) 評価方法

書くことを見つけたか、書き方を理解したか、評価し達成感を持ったかについては、題材プリント、構成表、評価カード、事前・事後のアンケート等から分析し、書く意欲の高まりについては、事前・事後のアンケート等から評価する。